

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
 - 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
 - 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
 - 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
- (思考・判断)
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
 - 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
- (技能・表現)
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
 - ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- (関心・意欲)
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- (態度)
- 学校教育に対する強い使命感和責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<転換教育科目>	基礎ゼミナール	10					20		40	20	10
<技法知科目>	外国語科目	30							50		20
<技法知科目>	健康・スポーツ科目	20							50		30
<技法知科目>	情報科目	30							50		20
<学問知科目>	人文社会科学・教育学領域科目	50									50
<学問知科目>	理学・工学領域科目	50									50
<学問知科目>	農学領域科目	50									50
<探究知科目>	環境科目	50									50
<探究知科目>	地域科目	50									50
<実践知科目>	地域課題演習科目	10					20		40	20	10
<教職専門科目>	観察実習		10	10		20		20		20	20
<教職専門科目>	学校体験実習		10	10		20		20		20	20
<教職専門科目>	小学校教育実習		10	10		20		10	10	20	20
<教職専門科目>	中学校教育実習		10	10		20		10	10	20	20
<教職専門科目>	教育実習研究		10	10		10	10	10	10	20	20
<教職専門科目>	教職実践演習	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
<教職専門科目>	教職入門		30						20	20	30
<教職専門科目>	教育概論	10	20			20			10	20	20
<教職専門科目>	教育の思想	30	30				20			20	
<教職専門科目>	教育の歴史	20	20			10	20		10	20	
<教職専門科目>	教育学特殊講義A	10	10		30		20		10	20	
<教職専門科目>	学校安全学と防災教育	10	20			20		10		20	20
<教職専門科目>	教育法規	10			20		20			20	30
<教職専門科目>	学校経営・制度論		20		30		10		10	10	20
<教職専門科目>	教育・学校心理学		20			20		20		20	20
<教職専門科目>	発達心理学		20			20		20		20	20
<教職専門科目>	特別支援教育	20	20		20					40	
<教職専門科目>	道德教育の理論と実践		20	20		20		10	10	10	10
<教職専門科目>	総合的な学習の時間の理論と実践	10	10	10		20	20		20	10	
<教職専門科目>	特別活動の理論と方法		10	20			30	10	20	10	
<教職専門科目>	教育課程・教育方法論	10	20			30		10	20	10	
<教職専門科目>	生徒指導・進路指導		20			20		30		20	10
<教職専門科目>	教育相談		20			20		20		10	30
<教職専門科目>	教育におけるICT活用	10	10				40		20	10	10
<教職専門科目>	プログラミング基礎	10	10				40		20	10	10
<選択科目>	小学校実践研究		10	30		10		30	10		10
<教科専門科目>	小学校国語		10	40				40			10
<教科専門科目>	国語科教育法(小)		10	30				30	10	10	10
<教科専門科目>	小学校社会		10	40				40			10
<教科専門科目>	社会科教育法(小)			40		10		20	10	10	10
<教科専門科目>	小学校家庭科		10	30		10		30	10		10
<教科専門科目>	家庭科教育法(小)		10	30				30	10	10	10
<教科専門科目>	小学校音楽A		10	40				40			10
<教科専門科目>	小学校音楽B		10	40				40			10
<教科専門科目>	音楽科教育法(小)		10	40				30		10	10

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
 - 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
 - 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
 - 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
- （思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
 - 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
- （技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
 - ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

（態度）

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<教科専門科目>	小学校図画工作		10	40				40			10
<教科専門科目>	図画工作科教育法		10	40				30		10	10
<教科専門科目>	小学校体育A		10	20		20		40	10		
<教科専門科目>	小学校体育B		10	20		20		40	10		
<教科専門科目>	体育科教育法(小)		20	40		10				10	20
<教科専門科目>	小学校英語			40		20		20		10	10
<教科専門科目>	英語科教育法(小)		10	40				30		10	10
<教科専門科目>	小学校生活科		10	30		10		30		10	10
<教科専門科目>	生活科教育法		10	30		10		30		10	10
<教科専門科目>	小学校算数	10	20	20		10		20		10	10
<教科専門科目>	小学校理科		10	40				40			10
<教科専門科目>	算数科教育法		10	40				30		10	10
<教科専門科目>	理科教育法(小)		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	日本語学概論A				60		20			10	10
<所属専門科目>	日本語学概論B				60		20			10	10
<所属専門科目>	日本語学講義A				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学講義B				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学講義C				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学講義D				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学特別演習A				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国文学史A				60		20			10	10
<所属専門科目>	国文学史B				60		20			10	10
<所属専門科目>	国文学史C				60		20			10	10
<所属専門科目>	国文学講義A				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	国文学講義B				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	国文学特別演習A				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国文学特別演習B				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国文学実地研究				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学概論				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	論語講読				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学特別演習				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢字の文化誌				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学実地研究				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国語科特別演習				20		40		30		10
<所属専門科目>	国語科教育実践特別演習				20		40		30		10
<所属専門科目>	日本語学特殊講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	国文学特殊講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学特殊講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	書法基礎				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国語科教育法Ⅰ		10	30				30	10	10	10
<選択科目>	国語科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	国語科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	国語科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<所属専門科目>	日本史概論A		20			50	30				
<所属専門科目>	日本史概論B		20			50	30				

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
 - 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
 - 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
 - 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
- （思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
 - 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
- （技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
 - ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- （関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- （態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	日本近現代史		20			50	30				
<所属専門科目>	考古学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	考古学特殊講義		20			50	30				
<所属専門科目>	西洋史概論		20			50	30				
<所属専門科目>	西洋史外書講読A				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史外書講読B				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史外書講読C				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史外書講読D				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習A				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習B				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習C				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習D				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅰ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅱ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅲ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅳ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅴ				40		40		20		
<所属専門科目>	東洋史概論		20			50	30				
<所属専門科目>	人文地理学概論A		20			50	30				
<所属専門科目>	人文地理学概論B		20			50	30				
<所属専門科目>	地理学特別演習AⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習AⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習AⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習BⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習BⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習BⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学実習AⅠ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習AⅡ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習AⅢ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習BⅠ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習BⅡ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習BⅢ				40		40		20		
<所属専門科目>	自然地理学概論A		20			50	30				
<所属専門科目>	自然地理学概論B		20			50	30				
<所属専門科目>	地誌学		20			50	30				
<所属専門科目>	法学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	人権と教育		20			50	30				
<所属専門科目>	法と人権実習				40		40		20		
<所属専門科目>	法学特別演習A				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習B				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習C				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習D				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習E				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特殊講義A		20			50	30				
<所属専門科目>	法学特殊講義B		20			50	30				
<所属専門科目>	国際政治学		20			50	30				

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
 - 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
 - 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
 - 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
- （思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
 - 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
- （技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
 - ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- （関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- （態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	現代政治と公民教育		20			50	30				
<所属専門科目>	社会学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	社会学特殊講義		20			50	30				
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅣ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅤ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅣ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅤ				30		40		30		
<所属専門科目>	経済学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	国際経済論		20			50	30				
<所属専門科目>	労働問題		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学特殊講義A		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学特殊講義B		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理学特殊講義A		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理学特殊講義B		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学史		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理思想史		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習A				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習B				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習C				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習D				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習E				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅰ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅱ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅲ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅳ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅴ				40		40		20		
<所属専門科目>	社会科教育学概論A(地理歴史)		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義A(地理歴史)Ⅰ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義A(地理歴史)Ⅱ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅰ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅱ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅲ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅳ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学概論B(公民)		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義B(公民)Ⅰ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義B(公民)Ⅱ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅰ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅱ				30		40		30		

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
（思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
（技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
（関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
（態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅲ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅳ				30		40		30		
<選択科目>	社会科教材研究法			40		10		20	10	10	10
<選択科目>	社会科学習内容構築論			40	20		10	20		10	
<所属専門科目>	中等社会科教育法A(社会・地歴)			40		10		20	10	10	10
<所属専門科目>	中等社会科教育法B(社会・公民)			40		10		20	10	10	10
<選択科目>	地理歴史科教育法			40		10		20	10	10	10
<選択科目>	公民科教育法			40		10		20	10	10	10
<所属専門科目>	木材加工(製図を含む)		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	機械材料学		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	金属加工(製図を含む)		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	機械工学		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	電気電子工学		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	栽培理論Ⅰ		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	栽培理論Ⅱ		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	作物生産論		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	栽培学実験		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	情報工学Ⅰ		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	情報工学Ⅱ		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	プログラミング演習		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	教育情報システム演習		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	統計的機械学習実践		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	情報社会と倫理		10	30	20		20	10	10		
<所属専門科目>	技術科教育法Ⅰ		10	30				30	10	10	10
<選択科目>	技術科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	技術科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	技術科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<所属専門科目>	英語学の世界				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語の文法				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語学特別演習				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語学特別講義A				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語学特別講義B				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語音声学講義				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語音声学特別演習				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(S)Ⅰ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(S)Ⅱ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(W)Ⅰ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(W)Ⅱ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別研究A				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別研究B				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別研究C				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	異文化理解				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	英語インターンシッププログラムA			20		20		20		30	10
<所属専門科目>	英語インターンシッププログラムB			20		20		20		30	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別演習Ⅰ			20			40	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別演習Ⅱ			20			40	20		10	10

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。

- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

（思考・判断）

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

（技能・表現）

- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。

- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

（態度）

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	英語科教育法特別講義A			40			20	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別講義B			40			20	20		10	10
<所属専門科目>	英語文学概論				40		20	20		10	10

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
（思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
（技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
（関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
（態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	英語文学特別演習Ⅰ				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語文学特別演習Ⅱ				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語文学特別講義A				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語文学特別講義B				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<選択科目>	英語科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	英語科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	英語科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<所属専門科目>	ソルフェージュAⅠ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	ソルフェージュBⅠ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	ソルフェージュAⅡ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	ソルフェージュBⅡ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	声楽Ⅰ		20	20			10	40			10
<所属専門科目>	声楽Ⅱ		20	20			10	40			10
<所属専門科目>	声楽Ⅲ		20		20		10	40			10
<所属専門科目>	声楽Ⅳ		20		20		10	40			10
<所属専門科目>	合唱		10	20	20	20		10	10	10	
<所属専門科目>	器楽AⅠ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽AⅡ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽AⅢ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	器楽AⅣ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅠ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅡ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅢ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅣ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	伴奏法				20		20		40		20
<所属専門科目>	合奏A		10	20	20	20		10	10	10	
<所属専門科目>	合奏B	10				30		20	20	10	10
<所属専門科目>	器楽C			20				50	30		
<所属専門科目>	器楽D			20				50	30		
<所属専門科目>	指揮法			10	10			50	30		
<所属専門科目>	音楽理論Ⅰ			10	30		30		30		
<所属専門科目>	音楽理論Ⅱ			10	30		30		30		
<所属専門科目>	作曲法Ⅰ			20	20	20	20	20	20		
<所属専門科目>	作曲法Ⅱ			20	20	20	20		20		
<所属専門科目>	音楽史	100									
<所属専門科目>	声楽演習Ⅰ				20		30	50			
<所属専門科目>	声楽演習Ⅱ				20		30	50			
<所属専門科目>	声楽演習Ⅲ				20		30	50			
<所属専門科目>	声楽演習Ⅳ				20		30	50			
<所属専門科目>	器楽演習AⅠ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習AⅡ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習AⅢ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習AⅣ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅠ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅡ				20		30	30	20		

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
（思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
（技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
（関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
（態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<所属専門科目>	器楽演習BⅢ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅣ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	作曲演習Ⅰ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	作曲演習Ⅱ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	作曲演習Ⅲ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	作曲演習Ⅳ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅰ	10		20		20	20		20	10	
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅱ	10		20		20	20		20	10	
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅲ	10		20		20	20		20	10	
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅳ	10		20		20	20		20	10	
<選択科目>	音楽科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	音楽科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	音楽科教育法Ⅲ			20		20		20	20	10	10
<選択科目>	音楽科教育法演習A			30	10	20		30		10	
<選択科目>	音楽科教育法演習B			30	10	20		30		10	
<所属専門科目>	絵画基礎	10		10	50		30				
<所属専門科目>	彫刻基礎	10		10	50		30				
<所属専門科目>	デザイン基礎A	10		10	50		30				
<所属専門科目>	工芸基礎	10		10	50		30				
<所属専門科目>	美術史入門	10		10	50		30				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)F				50		50				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)A				50		50				

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
（思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
（技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
（関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
（態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)F				50		50				
<所属専門科目>	デザイン基礎B	10		10	50		30				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)F				50		50				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)F				50		50				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)D				50		50				
<所属専門科目>	美術史Ⅰ	10		10	50		30				
<所属専門科目>	美術史Ⅱ	10		10	50		30				
<所属専門科目>	美術史特別演習A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術史特別演習B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術史特別演習C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術史特別演習D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	色彩論特別演習	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術科教育特別演習A			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育特別演習B			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育特別演習C			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育特別演習D			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育法Ⅰ			40		20			10	20	10

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
 - 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
 - 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
 - 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
- （思考・判断）
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習（3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
 - 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
- （技能・表現）
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
 - ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- （関心・意欲）
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- （態度）
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<選択科目>	美術科教育法Ⅱ			40		20			10	20	10
<選択科目>	美術科教育法Ⅲ			40		20			10	20	10
<選択科目>	美術科教育法Ⅳ			40		20			10	20	10
<所属専門科目>	基礎体育実技(体づくり運動含む)		10	10	10	10		30	10	10	10
<所属専門科目>	体育実技A(水泳含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技B(冬季スポーツ含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技C(陸上競技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技D(器械運動含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技E(武道含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技F(ダンス含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技G(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技H(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技I(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技J(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育学A(体育原理含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学C(体育経営管理含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学D(体育社会学含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	運動学(運動方法学含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	生理学(運動生理学含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	衛生・公衆衛生学	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	学校保健A(小児保健・精神保健・学校安全含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	学校保健B(救急処置含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学実験	10				10	40		40		
<所属専門科目>	体育学特別演習	10				10	40		40		
<所属専門科目>	保健体育科教育法Ⅰ		20	40		10				10	20
<選択科目>	保健体育科教育法Ⅱ		20	40		10				10	20
<選択科目>	保健体育科教育法Ⅲ		20	40		10				10	20
<選択科目>	保健体育科教育法Ⅳ		10	10			30		30	10	10
<選択科目>	教育学演習A	20	20				20		20	10	10
<選択科目>	教育学演習B	10			20		30		30	10	
<選択科目>	教育学演習D	20			30		30			20	
<選択科目>	教育学演習E	20			20				20	20	20
<選択科目>	教育学演習C	20				30		20	20		10
<選択科目>	教育学演習F	20			20				20	20	20
<選択科目>	教育学演習G	20				30		20	20		10

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 小学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
 - 小学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
 - 小学校の教科等の内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
 - 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次後期からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。
- (思考・判断)
- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
 - 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。
- (技能・表現)
- 小学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
 - ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- (関心・意欲)
- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- (態度)
- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<選択科目>	教育学特殊講義B	20	10			20		20	10	10	10
<選択科目>	授業実践研究		20	20		20		20		20	
<選択科目>	教育心理学演習		20		10	10	20	10	10	10	10
<選択科目>	発達心理学演習		30				30		20	10	10
<所属専門科目>	心理学実験				40		30		30		
<選択必修科目>	特別支援教育概説	10	10		30		30			10	10
<選択必修科目>	知的障害者の心理・生理・病理				50		30				20
<所属専門科目>	特別支援心理検査法				40		20		20		20
<選択必修科目>	肢体不自由者の心理・生理・病理				50		30				20
<選択必修科目>	病弱者の心理・生理・病理				50		30				20
<選択必修科目>	知的障害教育課程論			10	40	10	20			10	10
<選択必修科目>	知的障害教育指導法			10	40	10	20			10	10
<選択必修科目>	特別支援教育指導法			20	30		20	10		10	10
<所属専門科目>	知的障害教育授業論			10	40	10	20			10	10
<選択必修科目>	肢体不自由教育課程・指導法			10	30		20	20			20
<選択必修科目>	病弱教育課程・指導法				40		20	20			20
<所属専門科目>	特別支援教育実践論		20		10	10	20		20	20	
<選択必修科目>	視覚障害教育総論			10	40	10	20			10	10
<選択必修科目>	聴覚障害教育総論				60		40				
<選択必修科目>	言語障害教育総論				60		40				
<選択必修科目>	特別支援教育実習				30	20	20		20	10	
<選択必修科目>	特別支援教育実習研究				30	20	20		20	10	
<卒業研究>	卒業研究				20		40		30		10
<所属専門科目>	福祉心理学				40		30		30		
<所属専門科目>	発達障害総論				60		40				
<所属専門科目>	発達障害教育指導法		30		30			40			
<所属専門科目>	学習・言語心理学				40		30		30		
<所属専門科目>	関係行政論				40		30		30		
<所属専門科目>	感情・人格心理学				40		40		20		
<所属専門科目>	健康・医療心理学				40		40		20		
<所属専門科目>	公認心理師の職責				40		30		30		
<所属専門科目>	臨床心理学概論				20		20	30		20	10
<所属専門科目>	産業・組織心理学				40		30		30		
<所属専門科目>	障害者・障害児心理学		10	10	10	10	10	10		20	20
<所属専門科目>	人体の構造と機能及び疾病				40		30		30		
<所属専門科目>	心理学概論				40		30		30		
<所属専門科目>	心理学統計法				30		30		40		
<所属専門科目>	精神疾患とその治療				40		30		30		
<所属専門科目>	司法・犯罪心理学				40		30		30		
<所属専門科目>	社会・集団・家族心理学				40		30		30		
<所属専門科目>	神経・生理心理学				40		30		30		
<所属専門科目>	心理演習	10	10			20		20		10	30
<所属専門科目>	心理学研究法				30		30		40		
<所属専門科目>	心理学的支援法		10		10	20		20		20	20
<所属専門科目>	心理実習Ⅰ				30		30		40		
<所属専門科目>	心理実習Ⅱ				20		40		40		

(知識・理解)

- [illegible]

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<転換教育科目>	基礎ゼミナール	10					20		40	20	10
<技法知科目>	外国語科目	30							50		20
<技法知科目>	健康・スポーツ科目	20							50		30
<技法知科目>	情報科目	30							50		20
<学問知科目>	人文社会科学・教育学領域科目	50									50
<学問知科目>	理学・工学領域科目	50									50
<学問知科目>	農学領域科目	50									50
<探究知科目>	環境科目	50									50
<探究知科目>	地域科目	50									50
<実践知科目>	地域課題演習科目	10					20		40	20	10
<教職専門科目>	観察実習		10	10		20		20		20	20
<教職専門科目>	学校体験実習		10	10		20		20		20	20
<教職専門科目>	中学校教育実習		10	10		20		10	10	20	20
<教職専門科目>	中学校教育実習		10	10		20		10	10	20	20
<教職専門科目>	小学校教育実習		10	10		20		10	10	20	20
<教職専門科目>	教育実習研究		10	10		10	10	10	10	20	20
<教職専門科目>	教職実践演習	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
<教職専門科目>	教職入門		30						20	20	30
<教職専門科目>	教育概論	10	20			20			10	20	20
<教職専門科目>	教育の思想	30	30				20			20	
<教職専門科目>	教育の歴史	20	20			10	20		10	20	
<教職専門科目>	教育学特殊講義A	20	30			20			10	20	
<教職専門科目>	学校安全学と防災教育	10	20			20		10		20	20
<教職専門科目>	教育・学校心理学		20			20		20		20	20
<教職専門科目>	教育法規	10			20		20			20	30
<教職専門科目>	学校経営・制度論		20		30		10		10	10	20
<教職専門科目>	発達心理学		20			20		20		20	20
<教職専門科目>	特別支援教育	20	20		20					40	
<教職専門科目>	道徳教育の理論と実践		20	20		20		10	10	10	10
<教職専門科目>	総合的な学習の時間の理論と実践	10	10	10		20	20		20	10	
<教職専門科目>	特別活動の理論と方法		10	20			30	10	20	10	
<教職専門科目>	教育課程・教育方法論	10	20			30		10	20	10	

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<教職専門科目>	生徒指導・進路指導		20			20		30		20	10
<教職専門科目>	教育相談		20			20		20		10	30
<教職専門科目>	教育におけるICT活用法	10	10				40		20	10	10
<教職専門科目>	プログラミング基礎	10	10				40		20	10	10
<教科専門科目>	小学校生活科		10	30		10		30		10	10
<教科専門科目>	生活科教育法		10	30		10		30		10	10
<教科専門科目>	小学校算数	10	20	20		10		20		10	10
<教科専門科目>	算数科教育法		10	40				30		10	10
<教科専門科目>	小学校理科		10	40				40			10
<教科専門科目>	理科教育法(小)		10	40				30		10	10
<教科専門科目>	数学科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<選択科目>	数学科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	数学科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	数学科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<教科専門科目>	理科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<選択科目>	理科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	理科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	理科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<所属専門科目>	日本語学概論A				60		20			10	10
<所属専門科目>	日本語学概論B				60		20			10	10
<所属専門科目>	日本語学講義A				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学講義B				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学講義C				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学講義D				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学特別演習A				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国文学史A				60		20			10	10
<所属専門科目>	国文学史B				60		20			10	10
<所属専門科目>	国文学史C				60		20			10	10
<所属専門科目>	国文学講義A				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	国文学講義B				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	国文学特別演習A				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国文学特別演習B				20		40		20	10	10

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	国文学実地研究				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学概論				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	論語講読				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学特別演習				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢字の文化誌				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学実地研究				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国語科特別演習				20		40		30		10
<所属専門科目>	国語科教育実践特別演習				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	日本語学特殊講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	国文学特殊講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	漢文学特殊講義				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	書法基礎				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	国語科教育法Ⅰ		10	30				30	10	10	10
<所属専門科目>	国語科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	国語科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	国語科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<教科専門科目>	小学校国語		10	40				40			10
<教科専門科目>	国語科教育法(小)		10	30				30	10	10	10
<所属専門科目>	日本史概論A		20			50	30				
<所属専門科目>	日本史概論B		20			50	30				
<所属専門科目>	日本近現代史		20			50	30				
<所属専門科目>	考古学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	考古学特殊講義		20			50	30				
<所属専門科目>	西洋史概論		20			50	30				
<所属専門科目>	西洋史外書講読A				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史外書講読B				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史外書講読C				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史外書講読D				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習A				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習B				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別演習C				30		40		30		

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	西洋史特別演習D				30		40		30		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅰ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅱ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅲ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅳ				40		40		20		
<所属専門科目>	西洋史特別研究Ⅴ				40		40		20		
<所属専門科目>	東洋史概論		20			50	30				
<所属専門科目>	人文地理学概論A		20			50	30				
<所属専門科目>	人文地理学概論B		20			50	30				
<所属専門科目>	地理学特別演習AⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習AⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習AⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習BⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習BⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学特別演習BⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	地理学実習AⅠ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習AⅡ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習AⅢ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習BⅠ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習BⅡ				40		40		20		
<所属専門科目>	地理学実習BⅢ				40		40		20		
<所属専門科目>	自然地理学概論A		20			50	30				
<所属専門科目>	自然地理学概論B		20			50	30				
<所属専門科目>	地誌学		20			50	30				
<所属専門科目>	法学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	人権と教育		20			50	30				
<所属専門科目>	法と人権実習				40		40		20		
<所属専門科目>	法学特別演習A				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習B				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習C				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習D				30		40		30		
<所属専門科目>	法学特別演習E				30		40		30		

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	法学特殊講義A		20			50	30				
<所属専門科目>	法学特殊講義B		20			50	30				
<所属専門科目>	国際政治学		20			50	30				
<所属専門科目>	現代政治と公民教育		20			50	30				
<所属専門科目>	社会学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	社会学特殊講義		20			50	30				
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅣ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習AⅤ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅠ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅡ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅢ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅣ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会学特別演習BⅤ				30		40		30		
<所属専門科目>	経済学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	国際経済論		20			50	30				
<所属専門科目>	労働問題		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学特殊講義A		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学特殊講義B		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理学概論		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理学特殊講義A		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理学特殊講義B		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学史		20			50	30				
<所属専門科目>	倫理思想史		20			50	30				
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習A				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習B				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習C				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習D				30		40		30		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別演習E				30		40		30		

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感和責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅰ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅱ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅲ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅳ				40		40		20		
<所属専門科目>	哲学・倫理学特別研究Ⅴ				40		40		20		
<所属専門科目>	社会科教育学概論A(地理歴史)		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義A(地理歴史)Ⅰ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義A(地理歴史)Ⅱ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅰ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅱ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅲ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習A(地理歴史)Ⅳ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学概論B(公民)		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義B(公民)Ⅰ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特殊講義B(公民)Ⅱ		20			50	30				
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅰ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅱ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅲ				30		40		30		
<所属専門科目>	社会科教育学特別演習B(公民)Ⅳ				30		40		30		
<教科専門科目>	小学校社会		10	40				40			10
<教科専門科目>	社会科教育法(小)			40		10		20	10	10	10
<所属専門科目>	社会科教材研究法			40		10		20	10	10	10
<所属専門科目>	社会科学習内容構築論			40	20		10	20		10	
<所属専門科目>	中等社会科教育法A(社会・地歴)			40		10		20	10	10	10
<所属専門科目>	中等社会科教育法B(社会・公民)			40		10		20	10	10	10
<選択科目>	地理歴史科教育法			40		10		20	10	10	10
<選択科目>	公民科教育法			40		10		20	10	10	10
<教科専門科目>	木材加工(製図を含む)		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	機械材料学		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	金属加工(製図を含む)		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	機械工学		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	電気電子工学		10	30	20		20	10	10		

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<教科専門科目>	栽培理論Ⅰ		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	栽培理論Ⅱ		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	作物生産論		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	栽培学実験		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	情報工学Ⅰ		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	情報工学Ⅱ		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	プログラミング演習		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	教育情報システム演習		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	統計的機械学習実践		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	基礎統計解析の理論と実践	20				20	20		20	10	10
<教科専門科目>	多変量解析の理論と実践	20				20	20		20	10	10
<教科専門科目>	情報社会と倫理		10	30	20		20	10	10		
<教科専門科目>	技術科教育法Ⅰ		10	30				30	10	10	10
<選択科目>	技術科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	技術科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<選択科目>	技術科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<教科専門科目>	小学校家庭科		10	30		10		30	10		10
<教科専門科目>	家庭科教育法(小)		10	30				30	10	10	10
<所属専門科目>	英語学の世界				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語の文法				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語学特別演習				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語学特別講義A				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語学特別講義B				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語音声学講義				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語音声学特別演習				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(S)Ⅰ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(S)Ⅱ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(W)Ⅰ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別演習(W)Ⅱ				20		20		40	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別研究A				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別研究B				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語表現特別研究C				20		40		20	10	10

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	異文化理解				40		20		20	10	10
<所属専門科目>	英語インターンシッププログラムA			20		20		20		30	10
<所属専門科目>	英語インターンシッププログラムB			20		20		20		30	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別演習Ⅰ			20			40	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別演習Ⅱ			20			40	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別講義A			40			20	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法特別講義B			40			20	20		10	10
<所属専門科目>	英語文学概論				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語文学特別演習Ⅰ				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語文学特別演習Ⅱ				20		40		20	10	10
<所属専門科目>	英語文学特別講義A				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語文学特別講義B				40		20	20		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	英語科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	英語科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	英語科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<教科専門科目>	英語科教育法(小)		10	40				30		10	10
<教科専門科目>	小学校英語			40		20		20		10	10
<所属専門科目>	ソルフェージュAⅠ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	ソルフェージュBⅠ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	ソルフェージュAⅡ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	ソルフェージュBⅡ			20	30			40		10	
<所属専門科目>	声楽Ⅰ		20	20			10	40			10
<所属専門科目>	声楽Ⅱ		20	20			10	40			10
<所属専門科目>	声楽Ⅲ		20		20		10	40			10
<所属専門科目>	声楽Ⅳ		20		20		10	40			10
<所属専門科目>	合唱		10	20	20	20		10	10	10	
<所属専門科目>	器楽AⅠ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽AⅡ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽AⅢ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	器楽AⅣ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅠ		20	20		10		40		10	

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	器楽BⅡ		20	20		10		40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅢ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	器楽BⅣ		20		20		10	40		10	
<所属専門科目>	伴奏法				20		20		40		20
<所属専門科目>	合奏A		10	20	20	20		10	10	10	
<所属専門科目>	合奏B	10				30		20	20	10	10
<所属専門科目>	器楽C			20				50	30		
<所属専門科目>	器楽D			20				50	30		
<所属専門科目>	指揮法			10	10			50	30		
<所属専門科目>	音楽理論Ⅰ			10	30		30		30		
<所属専門科目>	音楽理論Ⅱ			10	30		30		30		
<所属専門科目>	作曲法Ⅰ			20	20	20	20		20		
<所属専門科目>	作曲法Ⅱ			20	20	20	20		20		
<所属専門科目>	音楽史	100									
<所属専門科目>	声楽演習Ⅰ				20		30	50			
<所属専門科目>	声楽演習Ⅱ				20		30	50			
<所属専門科目>	声楽演習Ⅲ				20		30	50			
<所属専門科目>	声楽演習Ⅳ				20		30	50			
<所属専門科目>	器楽演習AⅠ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習AⅡ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習AⅢ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習AⅣ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅠ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅡ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅢ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	器楽演習BⅣ				20		30	30	20		
<所属専門科目>	作曲演習Ⅰ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	作曲演習Ⅱ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	作曲演習Ⅲ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	作曲演習Ⅳ			10	30	10	30		10		10
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅰ	10		20		20	20		20	10	
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅱ	10		20		20	20		20	10	

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅲ	10		20		20	20		20	10	
<所属専門科目>	音楽科教育学演習Ⅳ	10		20		20	20		20	10	
<教科専門科目>	小学校音楽A		10	40				40			10
<教科専門科目>	小学校音楽B		10	40				40			10
<教科専門科目>	音楽科教育法(小)		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	音楽科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	音楽科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	音楽科教育法Ⅲ			20		20		20	20	10	10
<所属専門科目>	音楽科教育法演習A			30	10	20		30			10
<所属専門科目>	音楽科教育法演習B			30	10	20		30		10	
<所属専門科目>	絵画基礎	10		10	50		30				
<所属専門科目>	彫刻基礎	10		10	50		30				
<所属専門科目>	デザイン基礎A	10		10	50		30				
<所属専門科目>	工芸基礎	10		10	50		30				
<所属専門科目>	美術史入門	10		10	50		30				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(絵画)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(絵画)F				50		50				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(彫刻)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)C				50		50				

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(彫刻)F				50		50				
<所属専門科目>	デザイン基礎B	10		10	50		30				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(デザイン)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(デザイン)F				50		50				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(視覚文化)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)D				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)E				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(視覚文化)F				50		50				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形特別演習(工芸)D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)A				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)B				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)C				50		50				
<所属専門科目>	造形実習(工芸)D				50		50				

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	美術史Ⅰ	10		10	50		30				
<所属専門科目>	美術史Ⅱ	10		10	50		30				
<所属専門科目>	美術史特別演習A	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術史特別演習B	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術史特別演習C	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術史特別演習D	10		10	40		40				
<所属専門科目>	色彩論特別演習	10		10	40		40				
<所属専門科目>	美術科教育特別演習A			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育特別演習B			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育特別演習C			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育特別演習D			20		10		20	20	20	10
<所属専門科目>	美術科教育法Ⅰ		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	美術科教育法Ⅱ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	美術科教育法Ⅲ			30		10		30	10	10	10
<所属専門科目>	美術科教育法Ⅳ			20		20		20	20	10	10
<教科専門科目>	小学校図画工作	20		30	20		20				10
<教科専門科目>	図画工作科教育法		10	40				30		10	10
<所属専門科目>	基礎体育実技(体づくり運動含む)		10	10	10	10		30	10	10	10
<所属専門科目>	体育実技A(水泳含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技B(冬季スポーツ含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技C(陸上競技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技D(器械運動含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技E(武道含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技F(ダンス含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技G(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技H(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技I(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育実技J(球技含む)		10	10	10	10		40		10	10
<所属専門科目>	体育学A(体育原理含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学B(体育心理学含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学C(体育経営管理含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学D(体育社会学含む)	20			40		10		10	10	10

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 中学校教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 中学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 取得する免許教科の内容及び指導法に関する知識を身につけるために、2、3年次に教科の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を身につけることができるように、1年次からサブコースに所属することとし、サブコース毎に専門科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習(3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、サブコース毎に演習科目及び実験科目や卒業研究を配置している。

(技能・表現)

- 中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心を持たせ、その発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	運動学(運動方法学含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	生理学(運動生理学含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	衛生・公衆衛生学	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	学校保健A(小児保健・精神保健・学校安全含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	学校保健B(救急処置含む)	20			40		10		10	10	10
<所属専門科目>	体育学実験	10				10	40		40		
<所属専門科目>	体育学特別演習	10				10	40		40		
<教科専門科目>	小学校体育A		10	20		20		40	10		
<教科専門科目>	小学校体育B		10	20		20		40	10		
<教科専門科目>	体育科教育法(小)		20	40		10				10	20
<所属専門科目>	保健体育科教育法Ⅰ		20	40		10				10	20
<所属専門科目>	保健体育科教育法Ⅱ		20	40		10				10	20
<所属専門科目>	保健体育科教育法Ⅲ		20	40		10				10	20
<所属専門科目>	保健体育科教育法Ⅳ		10	10			30		30	10	10
<卒業研究>	卒業研究				20		40		30		10

教育学部

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 理数教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 理科あるいは数学の基本的な内容及び指導法に関する知識を身につけるために、1、2年次に理科あるいは数学の一般的な専門科目を配置するとともに、2、3年次に教科指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を深めることができるように、3、4年次で履修する発展的な選択科目を配置している。

(思考・判断)

- 学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけるために、基礎となる学校教育、理数教育に関する科目を3年次前期までに履修するとともに、学校現場の実践的教育の場として4年一貫的教育実習(「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、主免教育実習3年次)、副免教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、専攻分野の発展的な科目の少人数教育や卒業研究を行う。

(技能・表現)

- 学習指導の基本的な技能を身につけるために、教科の指導法や実験・実習の科目を必修としている。さらに発展的な技能を学習するために「ICTを活用した理数教育」を必修としている。
- 児童・生徒の生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の科目、及び4年一貫的教育実習を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、学生の能動的な学習を取り入れた「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

(関心・意欲)

- 学校教育への強い関心と学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。その中で理数教育の発展に貢献しようとする意欲を高めるために、現在の理数教育の課題解決に直結する科目として「ICTを活用した理数教育」を必修としている。

(態度)

- 学校教育に対する強い使命感和責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通した教職指導を行う。

		学位授与の方針										
科目区分(細区分)名	授業科目名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<転換教育科目>	基礎ゼミナール	10					20			40	20	10
<技法知科目>	外国語科目	30								50		20
<技法知科目>	健康・スポーツ科目	20								50		30
<技法知科目>	情報科目	30								50		20
<学問知科目>	人文社会科学・教育学領域科目	50										50
<学問知科目>	理学・工学領域科目	50										50
<学問知科目>	農学領域科目	50										50
<探究知科目>	環境科目	50										50
<探究知科目>	地域科目	50										50
<実践知科目>	地域課題演習科目	10					20			40	20	10
<教職専門科目>	教職入門		30							20	20	30
<教職専門科目>	教育概論	10	20			20				10	20	20
<教職専門科目>	発達心理学		20			20			20		20	20
<教職専門科目>	教育の思想	30	30				20				20	
<教職専門科目>	教育の歴史	20	20			10	20			10	20	
<教職専門科目>	教育学特殊講義A	20	30			20				10	20	
<教職専門科目>	教育法規	10			20		20				20	30
<教職専門科目>	学校経営・制度論		20		30		10			10	10	20
<教職専門科目>	特別支援教育	20	20		20						40	
<教職専門科目>	教育相談		20			20		20			10	30
<教職専門科目>	観察実習		10	10		20		10	10		20	20
<教職専門科目>	学校体験実習		10	10	10	20		10	10		20	20
<教職専門科目>	小学校教育実習		10	10		10		10	10	10	20	20
<教職専門科目>	中学校教育実習		10	10		10		10	10	10	20	20
<教職専門科目>	小学校教育実習		10	10		10		10	10	10	20	20
<教職専門科目>	中学校教育実習		10	10	10	10		10	10	10	20	20
<教職専門科目>	教育実習研究		10	10		10		10	10	10	20	20
<教職専門科目>	ICTを活用した理数教育			30		10		30		10	10	10
<教職専門科目>	教育におけるICT活用法	10	10				40			20	10	10
<教職専門科目>	プログラミング基礎	10	10				40			20	10	10
<教職専門科目>	教職実践演習		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
<教職専門科目>	教育・学校心理学		20			20			20		20	20
<教職専門科目>	学校安全学と防災教育	10	20			20			10		20	20

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 理数教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 理科あるいは数学の基本的な内容及び指導法に関する知識を身につけるために、1、2年次に理科あるいは数学の一般的な専門科目を配置するとともに、2、3年次に教科指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を深めることができるように、3、4年次で履修する発展的な選択科目を配置している。

（思考・判断）

- 学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけるために、基礎となる学校教育、理数教育に関する科目を3年次前期までに履修するとともに、学校現場の実践的教育の場として4年一貫的教育実習（「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、専攻分野の発展的な科目の少人数教育や卒業研究を行う。

（技能・表現）

- 学習指導の基本的な技能を身につけるために、教科の指導法や実験・実習の科目を必修としている。さらに発展的な技能を学習するために「ICTを活用した理数教育」を必修としている。
- 児童・生徒の生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の科目、及び4年一貫的教育実習を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、学生の能動的な学習を取り入れた「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

- 学校教育への強い関心と学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。その中で理数教育の発展に貢献しようとする意欲を高めるために、現在の理数教育の課題解決に直結する科目として「ICTを活用した理数教育」を必修としている。

（態度）

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

		学位授与の方針										
科目区分(細区分)名	授業科目名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<教職専門科目>	教育課程・教育方法論	10	20			30			10	20	10	
<教職専門科目>	総合的な学習の時間の理論と実践	10	10	10		20	20			20	10	
<教職専門科目>	生徒指導・進路指導		20			20			30		20	10
<教職専門科目>	道德教育の理論と実践		20	20		20			10	10	10	10
<教職専門科目>	特別活動の理論と方法		10	20			30		10	20	10	
<選択科目>	小学校実践研究		10	30		10		30		10		10
<教科専門科目>	国語科教育法(小)		10	30				30		10	10	10
<教科専門科目>	社会科教育法(小)			40		10		20		10	10	10
<教科専門科目>	生活科教育法		10	30		10		30			10	10
<教科専門科目>	音楽科教育法(小)		10	40				30			10	10
<教科専門科目>	家庭科教育法(小)		10	30				30		10	10	10
<教科専門科目>	図画工作科教育法		10	40					30		10	10
<教科専門科目>	体育科教育法(小)		20	40		10					10	20
<教科専門科目>	英語科教育法(小)		10	40					30		10	10
<教科専門科目>	小学校国語		10	40				40				10
<教科専門科目>	小学校生活科		10	30		10		30			10	10
<教科専門科目>	小学校音楽A		10	40				40				10
<教科専門科目>	小学校図画工作		10	40				40				10
<教科専門科目>	小学校体育A		10	20		20		40		10		
<教科専門科目>	小学校社会		10	40				40				10
<教科専門科目>	小学校家庭科		10	30		10		30		10		10
<教科専門科目>	小学校英語			40		20			20		10	10
<教科専門科目>	小学校理科		10	40				40				10
<教科専門科目>	理科教育法(小)		10	40				30			10	10
<教科専門科目>	小学校算数	10	20	20		10		20			10	10
<教科専門科目>	算数科教育法		10	40					30		10	10
<所属専門科目>	物理学A			50	30		20					
<所属専門科目>	物理学B			50	30		20					
<所属専門科目>	古典力学				50		40				10	
<所属専門科目>	電磁気学				50		40				10	
<所属専門科目>	量子力学				50		40				10	
<所属専門科目>	相対性理論				50		40				10	
<所属専門科目>	物理学実験Ⅰ			40				60				
<所属専門科目>	物理学実験Ⅱ				30		10	50			10	

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 理数教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 理科あるいは数学の基本的な内容及び指導法に関する知識を身につけるために、1、2年次に理科あるいは数学の一般的な専門科目を配置するとともに、2、3年次に教科指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を深めることができるように、3、4年次で履修する発展的な選択科目を配置している。

（思考・判断）

- 学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけるために、基礎となる学校教育、理数教育に関する科目を3年次前期までに履修するとともに、学校現場の実践的教育の場として4年一貫的教育実習（「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、専攻分野の発展的な科目の少人数教育や卒業研究を行う。

（技能・表現）

- 学習指導の基本的な技能を身につけるために、教科の指導法や実験・実習の科目を必修としている。さらに発展的な技能を学習するために「ICTを活用した理数教育」を必修としている。
- 児童・生徒の生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の科目、及び4年一貫的教育実習を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、学生の能動的な学習を取り入れた「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

- 学校教育への強い関心と学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。その中で理数教育の発展に貢献しようとする意欲を高めるために、現在の理数教育の課題解決に直結する科目として「ICTを活用した理数教育」を必修としている。

（態度）

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通じた教職指導を行う。

		学位授与の方針										
科目区分(細区分)名	授業科目名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	化学A			50	30	20						
<所属専門科目>	化学B			50	30	20						
<所属専門科目>	化学特講B				50	40					10	
<所属専門科目>	化学特講A				50	40					10	
<所属専門科目>	化学特講C				50	40					10	
<所属専門科目>	化学演習A				20	30				40		10
<所属専門科目>	化学演習B				20	30				40		10
<所属専門科目>	化学演習C				20	30				40		10
<所属専門科目>	化学演習D				20	30				40		10
<所属専門科目>	化学実験Ⅰ			40				60				
<所属専門科目>	化学実験Ⅱ				30	10	50				10	
<所属専門科目>	化学専門実験				50	20	20				10	
<所属専門科目>	生物学A			50	30	20						
<所属専門科目>	生物学B			50	30	20						
<所属専門科目>	分子生物学				50	40					10	
<所属専門科目>	生命科学演習A				20	30				50		
<所属専門科目>	生命科学演習B				20	30				50		
<所属専門科目>	生物学実験Ⅰ			40				60				
<所属専門科目>	生物学実験Ⅱ				30	10	50				10	
<所属専門科目>	分子生物学実験				20	30					50	
<所属専門科目>	地学A			50	30	20						
<所属専門科目>	地学B			50	30	20						
<所属専門科目>	岩石学				50	40					10	
<所属専門科目>	造岩鉱物の識別法				50	40					10	
<所属専門科目>	地学野外巡検			10	50	10	20					10
<所属専門科目>	地学実験Ⅰ			40				60				
<所属専門科目>	地学実験Ⅱ				30	10	50				10	
<所属専門科目>	理科教育特講Ⅰ			40	20	30					10	
<所属専門科目>	理科教育特講Ⅱ			40	20	30					10	
<所属専門科目>	理科教育特講Ⅲ			40	20	30					10	
<所属専門科目>	理科教育学特別演習Ⅰ			40	20	30					10	
<所属専門科目>	理科教育学特別演習Ⅱ			40	20	30					10	
<所属専門科目>	理科教育学特別演習Ⅲ			40	20	30					10	
<所属専門科目>	理科教育法Ⅰ		10	40				30			10	10

カリキュラムチェックリスト：学校教育教員養成課程 理数教育コース

（知識・理解）

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 義務教育段階の学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 理科あるいは数学の基本的な内容及び指導法に関する知識を身につけるために、1、2年次に理科あるいは数学の一般的な専門科目を配置するとともに、2、3年次に教科指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 専攻する学問分野の専門的知識を深めることができるように、3、4年次で履修する発展的な選択科目を配置している。

（思考・判断）

- 学校教育について実践的に思考・判断する能力を身につけるために、基礎となる学校教育、理数教育に関する科目を3年次前期までに履修するとともに、学校現場の実践的教育の場として4年一貫の教育実習（「観察実習」（1年次）、「学校体験実習」（2年次）、主免教育実習3年次）、副免教育実習（4年次）の履修を必修としている。
- 課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、専攻分野の発展的な科目の少人数教育や卒業研究を行う。

（技能・表現）

- 学習指導の基本的な技能を身につけるために、教科の指導法や実験・実習の科目を必修としている。さらに発展的な技能を学習するために「ICTを活用した理数教育」を必修としている。
- 児童・生徒の生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の科目、及び4年一貫の教育実習を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、学生の能動的な学習を取り入れた「教職入門」（1年次）、教育実習関連科目（1～4年次）、「教職実践演習」（4年次）、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。

（関心・意欲）

- 学校教育への強い関心と学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持たせるために、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」（1年次前期）に始まって「教職実践演習」（4年次後期）で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。その中で理数教育の発展に貢献しようとする意欲を高めるために、現在の理数教育の課題解決に直結する科目として「ICTを活用した理数教育」を必修としている。

（態度）

- 学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通した教職指導を行う。

		学位授与の方針										
科目区分(細区分)名	授業科目名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	態度
<所属専門科目>	理科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10	10
<所属専門科目>	理科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10	10
<所属専門科目>	理科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10	10
<所属専門科目>	代数学Ⅰ	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	代数学Ⅱ	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	代数学Ⅲ			20	20	20	20				10	10
<所属専門科目>	代数学Ⅳ			20	20	20	20				10	10
<所属専門科目>	幾何学Ⅰ	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	幾何学Ⅱ	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	幾何学Ⅲ			20	20	20	20				10	10
<所属専門科目>	幾何学Ⅳ			20	20	20	20				10	10
<所属専門科目>	解析学Ⅰ	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	解析学Ⅱ	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	解析学Ⅲ			20	20	20	20				10	10
<所属専門科目>	解析学Ⅳ			20	20	20	20				10	10
<所属専門科目>	確率論入門	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	プログラミング入門	10		10	20	20	10	10			10	10
<所属専門科目>	代数学各論			10	30	10	10			20	10	10
<所属専門科目>	幾何学各論			10	30	10	10			20	10	10
<所属専門科目>	解析学各論			10	30	10	10			20	10	10
<所属専門科目>	応用数学			10	30	10	10			20	10	10
<所属専門科目>	数学教育	10		10	10	20	10	10			20	10
<所属専門科目>	代数学特別講義			10	10		20			30	10	20
<所属専門科目>	幾何学特別講義			10	10		20			30	10	20
<所属専門科目>	解析学特別講義			10	10		20			30	10	20
<所属専門科目>	数学教育特別講義			10	10		20			30	10	20
<所属専門科目>	数学科教育法Ⅰ		10	40				30			10	10
<所属専門科目>	数学科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10	10
<所属専門科目>	数学科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10	10
<所属専門科目>	数学科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10	10
<卒業研究>	卒業研究				20		40			30		10
<選択科目>	基礎統計解析の理論と実践	20				20	20			20	10	10
<選択科目>	多変量解析の理論と実践	20				20	20			20	10	10
<選択科目>	STEAM教育実践演習	10	10	10	10	10	10	10		10	10	10

教育学部

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育、並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 特別支援学校及び小学校または中学校の教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、主に2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 特別支援教育の専門的知識を身につけることができるように、1年次から特別支援教育専門科目を配置している。
- (思考・判断)
学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、基礎免教育実習(3年次)、特別支援教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 特別支援教育に必要な課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、特別支援教育に必要な教育、心理、生理及び病理にかかわる卒業研究を配置している。
- (技能・表現)
小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- 特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身に付けるために、「特別支援教育指導法」「知的障害教育指導法」「発達障害総論」を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- (関心・意欲)
学校教育への強い関心を持ち、その発展に貢献しようとする意欲を持てるように、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- 特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち、最新の動向の把握に努め、特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持てるように、1年次前期から学校等の参観や実際に幼児児童生徒と活動する「特別支援教育実践論」を配置している。
- (態度)
学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通した教職指導を行う。
- 特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し、児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけるために、教育実習に加え、1年次には「特別支援教育実践論」、2年次には特別支援学校における「観察実習」を配置し、講義等における専門科目の学習経験と対応して実地に学習できるようにしている。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
<転換教育科目>	基礎ゼミナール	10					20			40	20		10	
<技法知科目>	外国語科目	30								50			20	
<技法知科目>	健康・スポーツ科目	20								50			30	
<技法知科目>	情報科目	30								50			20	
<学問知科目>	人文社会科学・教育学領域科目	50											50	
<学問知科目>	理学・工学領域科目	50											50	
<学問知科目>	農学領域科目	50											50	
<探究知科目>	環境科目	50											50	
<探究知科目>	地域科目	50											50	
<実践知科目>	地域課題演習科目	10					20			40	20		10	
<教職専門科目>	教職入門		30							20	20		30	
<教職専門科目>	教育概論	10	20			20				10	20		20	
<教職専門科目>	教育の思想	30	30				20			20				
<教職専門科目>	教育の歴史	20	20			10	20			10	20			
<教職専門科目>	教育学特殊講義A	20	30			20				10	20			
<教職専門科目>	発達心理学		20			20		20			20		20	
<教職専門科目>	教育法規	10			20		20				20		30	
<教職専門科目>	学校経営・制度論		20		30		10			10	10		20	
<教職専門科目>	教育相談		20			20		20			10		30	
<教職専門科目>	教育・学校心理学		20			20		20			20		20	
<教職専門科目>	学校安全学と防災教育	10	20			20		10			20		20	
<教職専門科目>	特別支援教育	20	20					20			20	20		
<教職専門科目>	教育課程・教育方法論	10	20			30		10		20	10			
<教職専門科目>	総合的な学習の時間の理論と実践	10	10	10		20	20			20	10			
<教職専門科目>	生徒指導・進路指導		20			20		30			20		10	
<教職専門科目>	道德教育の理論と実践		20	20		20		10		10	10		10	
<教職専門科目>	特別活動の理論と方法		10	20			30	10		20	10			
<教職専門科目>	観察実習		10	10		30		30			10		10	
<教職専門科目>	学校体験実習		10	10		30		30			10		10	
<教職専門科目>	小学校教育実習		10			30		30		10	10		10	
<教職専門科目>	中学校教育実習		10			30		30		10	10		10	
<教職専門科目>	教育実習研究		20	10		20		20			10		20	
<教職専門科目>	教職実践演習		10	10	10	10	10	10	10	10		10		10
<教職専門科目>	教育におけるICT活用法	10	10				40			20	10		10	
<教職専門科目>	プログラミング基礎	10	10				40			20	10		10	
<選択科目>	小学校教育実習		10			30		30		10	10		10	
<選択科目>	中学校教育実習		10			30		30		10	10		10	
<選択科目>	小学校実践研究		10	30		10		30		10			10	
<教科専門科目>	小学校国語		10	40				40					10	
<教科専門科目>	小学校生活科		10	30		10		30			10		10	
<教科専門科目>	小学校音楽A		10	40				40					10	
<教科専門科目>	小学校図画工作		10	40				40					10	
<教科専門科目>	小学校体育A		10	20		20		40		10				
<教科専門科目>	小学校社会		10	40				40					10	
<教科専門科目>	小学校家庭科		10	30		10		30		10			10	

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育、並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 特別支援学校及び小学校または中学校の教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、主に2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 特別支援教育の専門的知識を身につけることができるように、1年次から特別支援教育専門科目を配置している。
- (思考・判断)
学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、基礎免教育実習(3年次)、特別支援教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 特別支援教育に必要な課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、特別支援教育に必要な教育、心理、生理及び病理にかかわる卒業研究を配置している。
- (技能・表現)
小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- 特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンター的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身に付けるために、「特別支援教育指導法」「知的障害教育指導法」「発達障害総論」を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章で的確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協動的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- (関心・意欲)
学校教育への強い関心を持ち、その発展に貢献しようとする意欲を持てるように、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- 特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち、最新の動向の把握に努め、特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持てるように、1年次前期から学校等の参観や実際に幼児児童生徒と活動する「特別支援教育実践論」を配置している。
- (態度)
学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通して学ぶ。
- 特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し、児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけるために、教育実習に加え、1年次には「特別支援教育実践論」、2年次には特別支援学校における「観察実習」を配置し、講義等における専門科目の学習経験と対応して実地に学習できるようにしている。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	関心・意欲	態度	態度
<教科専門科目>	小学校算数	10	20	20		10		20			10		10	
<教科専門科目>	小学校理科		10	40				40					10	
<教科専門科目>	小学校音楽B		10	40				40					10	
<教科専門科目>	小学校体育B		10	20		20		40		10				
<教科専門科目>	小学校英語			40		20		20			10		10	
<教科専門科目>	国語科教育法(小)		10	30				30		10	10		10	
<教科専門科目>	社会科教育法(小)			40		10		20		10	10		10	
<教科専門科目>	理科教育法(小)		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	生活科教育法		10	30		10		30			10		10	
<教科専門科目>	音楽科教育法(小)		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	家庭科教育法(小)		10	30				30		10	10		10	
<教科専門科目>	体育科教育法(小)		20	40		10					10		20	
<教科専門科目>	英語科教育法(小)		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	算数科教育法		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	図画工作科教育法		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	国語科教育法Ⅰ		10	30				30		10	10		10	
<教科専門科目>	国語科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	国語科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	国語科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10		10	
<教科専門科目>	中等社会科教育法A(社会・地歴)			40		10		20		10	10		10	
<教科専門科目>	中等社会科教育法B(社会・公民)			40		10		20		10	10		10	
<教科専門科目>	社会科教材研究法			40		10		20		10	10		10	
<教科専門科目>	数学科教育法Ⅰ		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	数学科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	数学科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	数学科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10		10	
<教科専門科目>	理科教育法Ⅰ		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	理科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	理科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	理科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10		10	
<選択科目>	技術科教育法Ⅰ		10	30				30		20	10		10	
<選択科目>	技術科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<選択科目>	技術科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10		10	
<選択科目>	技術科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10		10	
<教科専門科目>	英語科教育法Ⅰ		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	英語科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	英語科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	英語科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10		10	
<教科専門科目>	音楽科教育法Ⅰ		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	音楽科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	音楽科教育法Ⅲ			20		20		20		20	10		10	
<教科専門科目>	音楽科教育法演習A			30	10	20		30			10			
<教科専門科目>	音楽科教育法演習B			30	10	20		30			10			
<教科専門科目>	美術科教育法Ⅰ		10	40				30			10		10	
<教科専門科目>	美術科教育法Ⅱ			30		10		30		10	10		10	
<教科専門科目>	美術科教育法Ⅲ			30		10		30		10	10		10	

カリキュラムチェックリスト: 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

(知識・理解)

- 幅広い視野と教養を身につけるために、教養教育科目の履修を必修としている。
- 特別支援学校における教育及び小学校教育または中学校教育、並びに子どもに関する基礎的な知識を身につけるために、「教育概論」、「教育心理学」、「発達心理学」、「特別支援教育」、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」等の教職専門科目の履修を必修としている。
- 特別支援学校及び小学校または中学校の教科等の内容並びに指導法に関する基礎的な知識を身につけるために、主に2、3年次に各教科等の内容及び指導法に関する科目を配置し、履修を義務づけている。
- 特別支援教育の専門的知識を身につけることができるように、1年次から特別支援教育専門科目を配置している。
- (思考・判断)
学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけるために、「観察実習」(1年次)、「学校体験実習」(2年次)、基礎免教育実習(3年次)、特別支援教育実習(4年次)の履修を必修としている。
- 特別支援教育に必要な課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけるために、特別支援教育に必要な教育、心理、生理及び病理にかかわる卒業研究を配置している。
- (技能・表現)
小学校または中学校における学習指導及び生活指導のための基礎的な技能を身につけるために、教科等の指導法に関する科目、「生徒指導・進路指導」、「教育相談」及び1年次から4年次までの教育実習関連科目を必修としている。
- 特別支援学校における指導及び支援、特別支援学校が有するセンタ－的機能に求められる相談支援のための基礎的な技能を身に付けるために、「特別支援教育指導法」「知的障害教育指導法」「発達障害総論」を必修としている。
- ものごとを計画的に進め、口頭や文章での確に表現することができる技能や、授業や話し合いを主導的に進めたり、協調的に議論することができる能力を養うために、「教職入門」(1年次)、教育実習関連科目(1～4年次)、「教職実践演習」(4年次)、サブコース毎の少人数による授業科目、卒業研究等を配置している。
- (関心・意欲)
学校教育への強い関心を持ち、その発展に貢献しようとする意欲を持てるように、1年次から4年次までの教育実習関連科目を含め、「教職入門」(1年次前期)に始まって「教職実践演習」(4年次後期)で完結する、系統的な教員養成カリキュラムを編成している。
- 特別支援教育の現状や課題に強い関心を持ち、最新の動向の把握に努め、特別支援教育の発展に貢献しようとする意欲を持てるように、1年次前期から学校等の参観や実際に幼児児童生徒と活動する「特別支援教育実践論」を配置している。
- (態度)
学校教育に対する強い使命感と責任の自覚、常に学び続けようとする態度を身につけるために、系統的な教員養成カリキュラムを編成するとともに、「教職ポートフォリオ」を活用して、4年間を通した教職指導を行う。
- 特別支援教育に対する強い使命感と責任を自覚し、児童生徒及び保護者の思いに寄り添う態度を身につけるために、教育実習に加え、1年次には「特別支援教育実践論」、2年次には特別支援学校における「観察実習」を配置し、講義等における専門科目の学習経験と対応して実地に学習できるようにしている。

科目区分(細区分)名	授業科目名	学位授与の方針												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		知識・理解	知識・理解	知識・理解	知識・理解	思考・判断	思考・判断	技能・表現	技能・表現	技能・表現	関心・意欲	関心・意欲	態度	態度
<教科専門科目>	美術科教育法Ⅳ			20		20		20		20	10		10	
<教科専門科目>	保健体育科教育法Ⅰ		20	40		10					10		20	
<教科専門科目>	保健体育科教育法Ⅱ		20	40		10					10		20	
<教科専門科目>	保健体育科教育法Ⅲ		20	40		10					10		20	
<教科専門科目>	保健体育科教育法Ⅳ		10	10		30				30	10		10	
<選択科目>	地理歴史科教育法			40		10		20		10	10		10	
<選択科目>	公民科教育法			40		10		20		10	10		10	
<所属専門科目>	特別支援教育概説	10	20		10		10		10			20		20
<所属専門科目>	知的障害者の心理・生理・病理				40		20						20	20
<所属専門科目>	特別支援心理検査法		20		20		20		10	10			10	10
<所属専門科目>	肢体不自由者の心理・生理・病理				40		20						20	20
<所属専門科目>	病弱者の心理・生理・病理				40		20						20	20
<所属専門科目>	知的障害教育課程論		10	10	20		20		20			10		10
<所属専門科目>	知的障害教育指導法		10	10	20		10		20	10		10		10
<所属専門科目>	特別支援教育指導法	10		20	10		20		10			10		20
<所属専門科目>	知的障害教育授業論		10	10	20		10		20	10		10		10
<所属専門科目>	肢体不自由教育課程・指導法			10	30		20		10	10		10		10
<所属専門科目>	病弱教育課程・指導法			10	30		20		10	10		10		10
<所属専門科目>	特別支援教育実践論		10		10	10	20			20		10		20
<所属専門科目>	視覚障害教育総論		10	10	20		20		20			10		10
<所属専門科目>	聴覚障害教育総論				50		30		20					
<所属専門科目>	言語障害教育総論				50		30		20					
<所属専門科目>	発達障害総論		20		20				20			20		20
<所属専門科目>	発達障害教育指導法			30				30	40					
<所属専門科目>	重複障害教育総論		10	10	20		20		20			10		10
<所属専門科目>	特別支援教育実習				30	10	10		10	10	10	10		10
<所属専門科目>	特別支援教育実習研究				30	10	10		10	10	10	10		10
<卒業研究>	卒業研究				20		40			20			10	10
<選択科目>	基礎統計解析の理論と実践	20				20	20			20	10		10	
<選択科目>	多変量解析の理論と実践	20				20	20			20	10		10	
<選択科目>	STEAM教育実践演習	10	10	10	10	10		10		10	10		10	